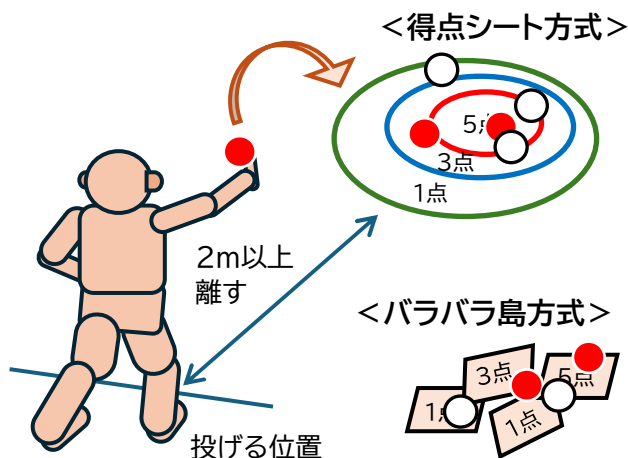


ぼっちゃん・カーリング

【 視空間認知力 】

難易度 ★★☆☆

楽しさ 😊😊😊



【 概要 】

- ・グループ対抗で、交互に玉を投げる
- ・全員が投げ終わった状態で、得点で勝負
- ・高得点ゾーンを目指して投げることや相手グループの玉にぶつけること等を意識することで、空間を認識する

※会場や参加者の状況によって、安全な実施方法を選ぶことができます

準備

- ・ 投げる玉を用意する(2色、各10個以上を用意)
 - 例) 「ボール」=新聞紙1枚を丸めて玉状にする。色テープを巻き付ける
※カラークラフトテープ等を使って、2色の玉を作成すると良い。
 - 「お手玉」=布切れや、古くなった豆・米などを集め、みんなで縫う
- ・ 的を用意する
 - 例) 「得点シート」=カレンダーなど大きい紙を繋げて作成
3重の円を描き、円の中心ほど高得点ゾーンにする
 - 「バラバラ得点島」=A4サイズの紙に数種類の得点を描き、目標物にする
- ・ 4～6人程度のグループに分かれる

方法

- ① 2グループ対抗で、交互に1人ずつ玉を投げて、最後に得点を競う
※グループの仲間同士で同じ色の玉を使用。1人1～2個を投げる
※立って投げるのが難しい方がいれば、イスに座って行う
※投げる場所への移動が大変であれば、得点シートの左右にグループ別でイスを並べて座り、自席から投げる
- ② 全員が投げ終わったら勝利を判定
各得点ゾーンに玉が何個あるかを確認し、各グループの合計点で勝負
- ③ 複数グループで行う場合は、トーナメント戦や総当たり戦で勝負する

チャレンジプログラム

相手グループの玉にぶつけるなど、逆転する方法を考えてチャレンジしよう

【 難しくする方法 】

★★☆ 投げる位置から目標までの距離を、3～4m以上に伸ばそう